

第 20 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 5 年 3 月 23 日（木）、3 月 24 日（金）、3 月 27 日（月）
方 法	WEB 会議（持ち回り開催）
出席者	委 員）渥美委員、今井委員、内山委員、根本委員 計 4 名 事務局）安武公金管理課長、瀧澤資金運用担当課長、春日井統括課長代理（企画調査総括担当）、松原課長代理（運用管理担当）、山本主任、鈴木主任 計 6 名
欠席者	なし
議 題	令和 5 年度公金管理計画（案）について
要 旨	<p>議 題 「令和 5 年度公金管理計画（案）について」</p> <p>事務局 公金管理を取り巻く環境認識として、日銀による金融緩和政策の継続に伴う運用に困難な状況が引き続き見込まれること、また世界的な金融引締め等が続く中での海外景気の下振れなどが金融機関等の経営に与える影響について注視が必要であること、加えてリスク管理の要素として ESG の視点について参考となる各種評価指標の調査・分析を進めていくことの必要性などについて説明。</p> <p>これらの環境認識のもと、迅速かつ的確なリスク対応を行いながら、安全性を最重要視し、流動性を十分に確保した上で、柔軟かつ効率的な保管・運用を目指すことについて、またこの考え方を踏まえた運用方法等の具体的対応方針などについて説明。</p> <p>委 員 経済動向や金融環境についての認識、また、それを踏まえた公金管理計画については、妥当なものと考えている。</p> <p>委 員 米国の一部金融機関の破綻から端を発した世界的な金融不安については、その影響が預金先である各銀行へ波及しないかも確認したほうがよいと考える。</p> <p>委 員 近年は SNS の広がりや資金移動の簡便化、影響力を持つ人の発言などにより、急速な預金の流出に繋がることもあるので、今後より注意が必要ではないかと考える。</p> <p>委 員 想定ポートフォリオについては、昨今の金利環境も適切に捉えたものであると考える。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>